

A 静かな庵と柑子の木

基礎から標準へ | 全8問 | 目安25分

A～Cは練習です。Dのみ8問100点の確認テストです。

打消し・推量・願いを落とさず、筆者の見方の変化を訳します。

出典：兼好法師『徒然草』第11段「神無月のころ」全段

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 神無月のころ栗栖野といふ所を過ぎて、ある山里にたづね入ること侍りしに、遙なる苔の細道をふみわけて、心ぼそく住みなしたる庵あり。木の葉にうづもるるかけひのしづくならでは、つゆおとなふものなし。
- ② 閑伽棚に菊紅葉など折りちらしたるさすがに住む人のあればなるべし。かくてもあられけるよと、あはれに見るほどに、かなたの庭に大きな柑子の木の、枝もたわわになりたるが、まはりをきびしくかこひたりしこそすこしことさめて、この木なからましかばと覚えしか。

語注と背景

神無月＝陰暦10月。栗栖野（くるすの）＝地名。庵（いほり）＝小さな住まい。
かけひ＝水を引くための竹や木の管。閑伽棚（あかだな）＝仏に供える水などを置く棚。柑子（かうじ）＝みかんの仲間。
なからましかば＝もしなかったならよいのに。ここでは願望を含む表現。

底本：國文大観 日記草子部。表記は教材用に一部整理。

語注・現代語訳・設問・解説は独自作成。

読み取りメモ 人物・出来事・筆者の考えを整理しよう。

A 静かな庵と柑子の木

基礎から標準へ | 全8問 | 目安25分 | 設問

本文と語注は問題1ページ。選択は記号を○で囲む。句読点も1字です。

字数は句読点・かぎカッコ・小さい仮名も各一字と数えます。解答に書く①・②なども各一字です。本文に印刷された段落番号や、解答欄の外の番号は数えません。

問1 ①の「うづもるる」の「うづ」を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。



2

2

問2 ①の「おとなふ」の文脈に合う意味として、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 大人になる

イ訪ねて来る

ウ音を立てる

工 声をかけて答える

問3 ①の「かけひのしづくならでは、つゆおとなふものなし」を現代語訳しなさい。(45字以内)

																		18	
																		36	
									45										

18

36

45

問4 ②の「あはれに見る」の主語として、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 庵に住む人

イ 筆者

ウ 栗栖野の村人

工 柑子を育てる人

見直しメモ 主語と本文の根拠を確かめよう。

A 静かな庵と柑子の木

基礎から標準へ | 全8問 | 目安25分 | 設問のつづき

本文と語注は問題1ページ。

問5 ②の「さすがに住む人のあればなるべし」を、棚の様子との関係が分かるように訳しなさい。(45字以内)

																		18	
																		36	
									45										

問6 ②の「ことさめて」を、ここに合う現代の言葉に直しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10

問7 ②の「この木なからましかばと覚えしか」を現代語訳しなさい。(40字以内)

																		18	
																		36	
				40															

問8 筆者の気持ちは、何を見たことで、どのように変わりましたか。前後の違いを書きなさい。（35字以上60字以内）

																		18	
																		36	
																		54	
						60													

解き直しメモ 間違えた問いの根拠を書こう。

B 二本の矢と今の一念

標準・応用 | 全8問 | 目安25分

反語の否定と、未来をあてにする心の動きを文脈に合わせて訳します。

出典：兼好法師『徒然草』第92段「ある人弓射ること」全段

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① ある人弓射ることをならふに、もろ矢をたばさみて的にむかふ。師のいはく、「初心の人ふたつの矢をもつことなかれ。後の矢をたのみて初の矢になほざりの心あり。毎度ただ得失なく、この一箭に定むべしとおもへ」といふ。
- ② わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろそかにせむと思はむや。懈怠の心みづから知らずといへども、師これを知る。このいましめ万事にわたるべし。
- ③ 道を学する人、夕には朝あらむことを思ひ、あしたには夕あらむことを思ひて、重ねてねんごろに修せむことを期す。いはむや一刹那のうちにおいて、懈怠の心あることを知らむや。なんぞただ今の一念において、ただちにすることのはなはだかたき。

語注と背景

もろ矢＝二本の矢。たばさむ＝手に持つ。一箭（いっせん）＝一本の矢。得失＝ここでは当たり外れ。なほざり＝いいかげんにすること。懈怠（けだい）＝気のゆるみ・怠け。道を学する人＝ここでは仏道を修行する人。

修す＝修行する。期す＝予定する。一刹那（いっせつな）＝ごく短い時間。一念＝一瞬の心。

底本：國文大観 日記草子部。表記は教材用に一部整理。

語注・現代語訳・設問・解説は独自作成。

読み取りメモ 人物・出来事・筆者の考えを整理しよう。

B 二本の矢と今の一念

標準・応用 | 全8問 | 目安25分 | 設問

本文と語注は問題4ページ。選択は記号を○で囲む。句読点も1字です。

問1 ②の「みづから」を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

--	--	--	--

4

問2 ①の「初心の人ふたつの矢をもつことなかれ」を現代語訳しなさい。（30字以内）

18

30

問3 ①の「後の矢をたのみて初の矢になほざりの心あり」を、初心者を主語として訳しなさい。（50字以内）

18

36

50

問4 ②の「一つをおろそかにせむと思はむや」の訳として、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 一本をおろそかにしようと思うのだろうか、いや、思わない
- イ 一本をおろそかにしようと思っているのだろうか
- ウ 一本をおろそかにしてほしいと願うのだろうか
- エ 一本をおろそかにした理由を教えてください

問5 ②の「師これを知る」の「これ」は何ですか。現代の言葉で答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

18

見直しメモ 主語と本文の根拠を確かめよう。

B 二本の矢と今の一念

標準・応用 | 全8問 | 目安25分 | 設問のつづき

本文と語注は問題4ページ。

問6 ③の「重ねてねんごろに修せむことを期す」の意味として、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 今すぐ熱心に修行している

イ 過去の修行をやめようと決心する

ウ 再び師に会ったら弓を習おうとする

エ 後で改めて熱心に修行しようとする

問7 ②の「このいましめ万事にわたるべし」を現代語訳しなさい。(35字以内)

[illegible]

問8 この話の主張を表すため、③の最後の疑問を受けて、何を大切にすべきか説明しなさい。（35字以上60字以内）

																	18
																	36
																	54
						60											

解き直しメモ 間違えた問いの根拠を書こう。

C 幼い日の問い

標準・応用 | 全8問 | 目安25分

質問と返答を一組にし、主語と疑問・打消しを自然な現代語にします。

出典：兼好法師『徒然草』第243段「八つになりし年」全段

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 八つになりし年、父に問うていはく、「仏はいかなるものにか候ふらむ」といふ。父がいはく、「仏には人のなりたるなり」と。また問ふ、「人は何として仏にはなり候ふやらむ」と。父また、「仏のをしへによりてなるなり」とこたふ。
- ② また問ふ、「教へ候ひける仏をば何がをしへ候ひける」と。また答ふ、「それもまたさきの仏のをしへによりてなり給ふなり」と。またとふ、「その教へはじめ候ひける第一の仏は、いかなる仏にか候ひける」といふ時、父、「空よりやふりけむ、土よりやわきけむ」といひてわらふ。「問ひつめられてえこたへずなり侍りつ」と諸人にかたりて興じき。

語注と背景

候ふ（さうらふ）・侍り（はべり）＝どちらも丁寧さを添える言い方。なり給ふ＝おなりになる。

や～けむ＝～だったのだろうか。諸人＝多くの人。興ず＝おもしろがる。

筆者が8歳だった時の父とのやり取りを回想した段。父子の言葉を、仏教の教義を確定する説明として読むものではない。

底本：國文大観 日記草子部。表記は教材用に一部整理。

語注・現代語訳・設問・解説は独自作成。

読み取りメモ 人物・出来事・筆者の考えを整理しよう。

C 幼い日の問い

標準・応用 | 全8問 | 目安25分 | 設問

本文と語注は問題7ページ。選択は記号を○で囲む。句読点も1字です。

問1 ①の「をしへ」を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

--	--	--

3

問2 ①の「また問ふ」の主語として、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 父
- イ 前の仏
- ウ 筆者の友人
- エ 八歳の筆者

問3 ①の「人は何として仏にはなり候ふやらむ」を現代語訳しなさい。（35字以内）

18

35

問4 ②で父が「それもまたさきの仏のをしへによりて」と答えた質問として、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 仏はどんなものか
- イ 教えた仏は何に教えられたのか
- ウ 父は何歳か
- エ 最初の仏は空から来たのか

問5 ②の「空よりやふりけむ、土よりやわきけむ」を、何について述べているか補って訳しなさい。（50字以内）

18

36

50

見直しメモ 主語と本文の根拠を確かめよう。

C 幼い日の問い

標準・応用 | 全8問 | 目安25分 | 設問のつづき

本文と語注は問題7ページ。

問6 ②の「問ひつめられてえこたへずなり侍りつ」を現代語訳しなさい。(30字以内)

[illegible]

問7 ②の「諸人にかたりて興じき」の主語を書きなさい。

--	--	--	--	--

 5

問8 最後の父の様子を、笑ったことと他の人に語ったことを根拠に説明しなさい。（35字以上60字以内）

[illegible]

解き直しメモ 間違えた問いの根拠を書こう。

D 狛犬の向きの理由

実力確認テスト | 全8問 | 目安35分 | 100点

人物の推量と後から明らかになる事実を区別し、訳に反映します。

出典：兼好法師『徒然草』第236段「丹波に出雲」全段

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 丹波に出雲といふ所あり。大社を遷してめでたくつくれり。しだのなにがしとかやする所なれば、秋の頃聖海上人、その外も人あまたさそひて、「いざたまへ、出雲をがみに、かいもちひめさせむ」とて具しもていきたるに、各拝みてゆゆしく信をおこしたり。
- ② 御前なる獅子狛犬、背きてうしろざまに立ちたりければ、上人いみじく感じて、「あなめでたや。この獅子のたちやういとめづらし。深きゆゑあらむ」となみだぐみて「いかに殿ばら、殊勝の事は御覧じとがめずや。むげなり」といへば、おのおのあやしみて、「まことに他にことなりけり。都のつとにかたらむ」などいふに、
- ③ 上人なほゆかしがりて、おとなしく物知りぬべき顔したる神官をよびて、「この御社の獅子のたてられやう、定めてならひあることに侍らむ。ちと承らばや」といはれければ、「そのことに候ふ。さがなきわらはべどもの仕りける、奇怪に候ふことなり」とてさし寄りてすゑなほしていなければ、上人の感涙いたづらになりけり。

語注と背景

丹波＝昔の国名。大社を遷す＝出雲の神を迎えてまつる。しだのなにがしとかやする所＝しだという名の方が治める土地。

聖海上人（しょうかいしやうにん）＝僧の名。かいもちひ＝食べ物的一种。具す＝連れる。殿ばら＝皆さん。

殊勝＝特に優れていること。御覧じとがむ＝お気付きになる。むげなり＝ひどい。都のつと＝都へ帰って話す土産話。

おとなしく＝落ち着いている様子で。ならひ＝由来のある習わし。承らばや＝お聞きしたい。仕る＝するの謙譲語。奇怪＝けしからぬこと。

底本：國文大観 日記草子部。表記は教材用に一部整理。

語注・現代語訳・設問・解説は独自作成。

読み取りメモ 人物・出来事・筆者の考えを整理しよう。

D 狒犬の向きの理由

実力確認テスト | 全8問 | 目安35分 | 100点 | 設問

本文と語注は問題10ページ。選択は記号を○で囲む。句読点も1字です。

問1〔8点〕 ②の「いふ」を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

問2〔8点〕 ③の「さがなきわらはべども」の意味として、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 行儀のよい大人たち

イ 物知りの神官たち

ウ いたずらな子供たち

エ 信仰心の厚い僧たち

問3〔8点〕②の「深きゆゑあらむ」と考えた人物として、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 上人

イ 神官

ウ 子供たち

エしだのなにがし

問4〔10点〕②の「この獅子のたちやういとめづらし。深きゆゑあらむ」を現代語訳しなさい。（45字以内）

																		18
																		36
									45									

問5〔10点〕 ③の「すゑなほしていなければ」の主語を書きなさい。

					5
--	--	--	--	--	---

見直しメモ 主語と本文の根拠を確かめよう。

D 狒犬の向きの理由

実力確認テスト | 全8問 | 目安35分 | 100点 | 設問のつづき

本文と語注は問題10ページ。

問6〔16点〕 ③の「上人の感涙いたづらになりにけり」を現代語訳しなさい。（40字以内）

[illegible]

問7〔20点〕 上人が考えた理由と、実際に狛犬が後ろ向きだった理由を対比して書きなさい。（40字以上65字以内）

																	18
																	36
																	54
											65						

問8〔20点〕 「ゆかしがりて」を「懐かしく思って」と訳すのが合わない理由を、上人のその後の行動から説明しなさい。（40字以上65字以内）

																	18	
																	36	
																	54	
											65							

得点 /100点 解き直した日 月 日

解き直しメモ 間違えた問いの根拠を書こう。